



# 代っ子通信

令和6年6月15日

〈第14号〉

校長 平塚智康

## コミュニティ・スクール(CS)について

「学校運営協議会」が設置された学校のことを、「コミュニティ・スクール(CS)」と呼びます。加賀市では、昨年度から市内全小中学校に「学校運営協議会」を設置し、「コミュニティ・スクール」化を行いました。コミュニティ・スクール(学校運営協議会)のねらいは、学校と地域が目標を共有し、連携・協働しながら、子どもたちの豊かな学びや成長を支えることです。

と言われても、一体何をどんな風にやっているのかわからないですよね。そこで、今日は、山代小学校で、どのようにコミュニティスクール(学校運営協議会)を進めているのか、その具体について紹介したいと思います。

### ★第1回学校運営協議会：4月18日(木)

- ・今年度の学校経営ビジョンについて校長が説明、委員の理解・承認を得る
- ・今年度のコミュニティスクールの方針や進め方について協議する
- ・具体的な学習支援活動について検討する
- ・情報交流

第1回目の学校運営協議会では、学校の運営方針を説明し、地域の方々に支援していただきたい活動について協議をしました。そして、2年生生活科の町たんけん、3年生総合的な学習(菖蒲湯祭りの由来、輪踊り参加等)、5・6年生家庭科実習、山代わくわく探検クラブなどへの支援に協力していただけることになりました。委員の皆さんには、そのネットワークを使って、様々な方面へ連絡し、協力していただける方(サポーター)を探していただいています。おかげで学校は大変助かっております。学校と地域が連携・協働して、子どもたちの豊かな学びや成長を支える具体的な姿です。



<6年生 家庭科ミシン実習での支援>



<山代わくわく探検クラブの活動>

### <令和6年度 山代小学校 学校運営協議会委員の皆様>

- 野村 正子氏 (コミュニティスクール・コーディネーター)
- 中出 敏彦氏 (山代公民館長)      ○ 濱田 泰正氏 (山代温泉まちづくり推進協議会)
- ルロワ 東出 康江氏 (山代温泉まちづくり推進協議会児童家庭委員会)

◆ 委員の皆様、サポーターの皆様、いつもご支援・ご協力ありがとうございます ◆

## 代小トーク～コミュニケーション力を高める！～

今年度、山代小学校では、「代小トーク」という活動に取り組んでいます。「代小トーク」は、子どもたちのコミュニケーション力を高めるとともに、子どもたち相互の関係性（リレーション）を紡ぎ、人間関係を豊かにすることやソーシャルスキルを高めることなどを目的として行う短時間のグループワークです。基本的に、毎週火曜日、5限目の前の10分間、1～6年生の全学級で実施しています。グループワークの内容は、「二者択一」「アドジャン」「1分間スピーチ」の3種類です。（まだ1分間スピーチは実施していません。）どんなグループワークなのか、ぜひお子さんに聞いてみてください。

人間関係づくりの基本は、コミュニケーションにあります。コミュニケーション力を高めることは、対話的・協働的な学習を促し学力向上に資するばかりでなく、幸せな自分の人生を切り拓くことにつながるものである、と私は考えています。子どもたちが自分自身の力で、well-being（ウェルビーイング＝幸せ）をつかむことができるように、代小トークの取組を充実させていきたいと思っています。



＜「二者択一」：ペアでトーク＞



＜「アドジャン」：グループでトーク＞

## 3年生 自転車教室

6月7日（金）、大聖寺警察署前の加賀市交通公園で、3年生の自転車教室が行われました。大聖寺警察署や市役所危機対策課の方から、横断歩道を渡るときの注意点や安全な自転車の乗り方について、実習を通して学びました。先日も、地域の方から、山代小の児童の街中での危険な自転車の乗り方（交差点での飛び出し、スピードの出し過ぎ）について注意を受けました。自分の命を守るために、安全な自転車の乗り方や交通マナーをしっかりと身につけてほしいと思います。

